

2023 年度支部活動【四国支部】開催報告
「日本語教育学会 2023 年度春季大会参加報告会」

主催：公益社団法人日本語教育学会
共催：愛媛大学国際連携推進機構国際教育支援センター
開催日：2023 年 6 月 14 日（水）14：30-16：00
会場：オンライン
参加人数：30 名（会員 8 名・一般 22 名）

この報告会は「日本語教育学会 支部活動」の四国支部内の企画として、2017 年から開催しています。目的は、学会参加の機会のない愛媛県内を中心とする四国地域の日本語教育関係者に学会の情報を提供することです。今回も過年度に引き続き、オンラインで開催しました。当日の参加者は 30 名で、内訳は、愛媛県を中心とした、四国内の日本語教師、学生（学部生・大学院生）、日本語ボランティア、日本語ボランティア団体や行政の関係者と多岐にわたっていました。

2022 年度の報告会同様、今回もまず参加者を 3 つの小グループに分け各ブレイクアウトルーム（以下 BOR）に移動。そこに今回の報告者 3 名が入室し、前半 10 分で報告・後半 10 分で意見交換を 1 セッションとし、20 分経過すると報告者が BOR を移動するという形式で実施しました。3 件の報告終了後、参加者は、自分が興味をもった報告者の BOR に入室し意見交換を深め、最後まで活発な話し合いが行われていました。報告会後のアンケートでは、「今回のように、今後も一般の私達へ日本語教育に関するお話を聞ける機会を作って頂ければすごくありがたいです。」「報告者のみなさんが、学会でご自身が聞かれた発表をまとめた上に、ご自身の感想も加えてくださったので、わかりやすかった」等、肯定的な意見が見受けられました。一方で、「時間に追われている感じがおり、ゆっくり話し合いができなかった」「グループ話し合いで自主的に発言する人がいなくて残念だった」といった、特に意見交換に関わる示唆に富んだ意見もありました。なお、この支部活動は、愛媛大学国際連携推進機構国際教育支援センターと共催で行われました。

過年度に引き続きのオンライン開催となりましたが、今回も大きな支障もなく無事に終えることができました。この場を借りて、本支部活動にご参加くださった皆様、そして、本支部活動の開催のためにご協力くださった四国支部活動委員ならびに支部活動運営協力員を中心とする関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

（報告者：元四国支部活動委員 高橋志野）



実際の学会のウェブサイトも使って説明しました

②地域住民のつくりたい日本語教室はどのような場所か

宮本所感：

- ①多様な教室があることで地域住民も選択肢が広がる
- ②自分たちのつくりたい場がどのような場なのか、まずは自分たちでしっかりと熟考・認識することが必要
→新規開設の教室だけでなく、既存の教室でも！
→理想と実態との乖離も…？適宜、実態との擦り合わせ
- ③更に、②を地域の教室案内等で発信することで、学習者が教室を選びやすくなる&自分たちもブレにくくなる
- ④「サードプレイス」としての教室を実現するには？
→「居心地いい」ってどういうこと？そのために何を
する？などの掘り下げ&共有が必要

報告者が所感を伝えて意見交換の切っ掛けにしました